



全国私立大学FD連携フォーラム  
2013年度総会・パネルディスカッション 次第

日時：2013年6月15日(土) 13:00～17:00  
会場：立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館1階 230号室

I. 2013年度総会(13:00～14:00)

司会進行：長谷川 岳史 龍谷大学経営学部教授、大学教育開発センター長  
開会挨拶  
会場校挨拶  
代表幹事校挨拶  
森本 朗裕 立命館大学理工学部教授、教育開発推進機構 機構長

1. 議事録確認：2012年度総会(2012年6月16日)
2. 2013-2014年度の体制について  
沖 裕貴 立命館大学 教育開発推進機構 教育開発支援センター長
3. 監査役(2013-2014年度)について
4. 2012年度活動報告および2013年度活動方針・計画
5. 2012年度決算 石坂 和幸 立命館大学 教学部次長
6. 2013年度予算(案)
7. 新規入会校(2012年度総会以降)について(報告)
8. 2013年度に提供する実践的FDプログラムについて  
土岐 智賀子 立命館大学教育開発推進機構 講師
9. その他

閉会挨拶

II. パネルディスカッション(14:00～17:00)

テーマ：「授業アンケートの明るく、楽しい活用事例」

□問題提起

評判のよい授業展開の10ヶ条

安岡高志氏(立命館大学 教育開発推進機構 教育開発支援センター 副センター長)

□事例紹介

- ・「政治学入門」授業改善の試行錯誤：「苦手意識」の壁と対峙して  
山田竜作氏(創価大学 学士課程教育機構)
- ・國學院大學における授業評価アンケートの実施と活用状況  
小濱歩氏(國學院大學 教育開発推進機構)
- ・中部大発「魅力ある授業づくり」～主体的なFD活動と授業評価～  
杉井俊夫氏(中部大学 大学教育研究センター副センター長)
- ・授業アンケートを用いた学習ポートフォリオ導入の効果検証～授業外の学習時間に注目して～  
川那部隆司氏(立命館大学 教育開発推進機構)

□全体討論

●総会終了後(17:30～) 懇親会

会場：諒友館食堂

## 全国私立大学 FD 連携フォーラム 2012 年度総会 議事録

日 時： 2012 年 6 月 16 日（土） 13：30 ～ 14：30

会 場： 中央大学 後楽園キャンパス 3 号館 10 階 31008 号室（大会議室）

出席大学：（加盟大学）

青山学院大学、神奈川大学、関西大学、関西学院大学、北里大学、京都産業大学、慶應義塾大学、國學院大学、国士舘大学、芝浦工業大学、創価大学、中央大学、中部大学、帝京大学、東京農業大学、同志社大学、東北学院大学、法政大学、明治大学、立教大学、立命館大学、龍谷大学、早稲田大学

（全 25 大学中 23 大学）

（非加盟大学）

愛知大学、愛知学院大学、九州産業大学、専修大学、日本大学、明星大学  
（6 大学）

### ・開会挨拶

はじめに、司会者である長尾 憲治 明治大学 理工学部専任教授、副教務部長より開会の挨拶があった。

### ・会場校挨拶

松本 昭夫 中央大学 FD 推進委員会委員長、経済学部教授より 会場校挨拶があった。

中央大学には以前より FD 委員会があったが、活発な活動は昨年度よりはじまったばかりであり、学内で FD が盛んな部門は 法科大学院や専門職大学院である。その他については、本フォーラムにおいて先進的な他大学から学ばせていただきたい、との挨拶があった。

### ・代表幹事校挨拶

安岡 高志 立命館大学 教育開発推進機構 教育開発支援センター 副センター長より、代表幹事校挨拶があった。

これまではシステムを導入することがに主眼が置かれていたが、これからは「人をつくる」という視点が重要である。この流れのなかで、多くの学生を抱える本フォーラムは非常に重要な位置を占めており、「人をつくる」という視点で FD を推進していくことへの期待が述べられた。

### 1. 議事録確認：2011 年度総会（2011 年 7 月 9 日実施）議事録の確認承認。

### 2. 2011 年度活動報告および 2012 年度活動方針・計画

代表幹事校より、「2011 年度活動報告および 2012 年度活動方針・計画」（別紙添付省略）にもとづき、2011 年度活動報告および 2012 年度活動方針・計画について説明があった。

2011 年度活動報告については、総会・パネルディスカッション、幹事会、各種ミーティングや、その他企画として法政大学における関東圏懇談会および懇談会企画の開催報告があった。また、広報活動の実施、2011 年度新規加盟校（龍谷大学）、「実践的 FD プログラム」オンデマンド講義の更新について、報告と紹介があった。

2012 年度活動方針については、現時点で加盟校数が 25 大学となったこと、また 2011 年度より年会費による運営を開始していることをふまえ、引き続き各種企画を実施しつつ、FD データベースの導入により、より一層の情報共有に努めるとともに、2011 年度より議論を重ねて

いる 2013 年度以降の運営体制について決定していく旨、提案があった。これらを受け、2012 年度の主な方針としては、①2013 年度以降の運営方針および体制の決定、②会員校の連携および情報共有の強化、③新規加盟の促進、④「実践的 FD プログラム」の活用促進の 4 点とする旨提案があり、これを承認。

なお、④については、従来の「事務局用 ID」および「個人 ID」に加え、新たに「集合研修用 ID」を発行し会員校へ配布し、その活用事例などを共有したいとの説明があった。

### 3. 2011 年度決算について

代表幹事校より、「2011 年度決算について」（別紙添付省略）にもとづき、報告があった。収入については、年会費（24 大学×年会費 5 万円＝120 万円）に加え、2011 年度総会後に開催した懇親会費を特別会計として計上している。

支出については資料のとおりである。なお、2011 年度は総会時に加盟校以外から講師を招いた為、講師への交通費・謝礼の支出が発生した。また、積立金については、会員校ミーティングでも確認したとおり、データベースシステム構築のための費用を計上している。システム構築費は、2011 年度予算より 40 万円分を積み立て、残りは 2012 年度予算を充てることとした（詳細は議題 5）。

以上の内容について代表幹事校から報告があった後、監査役である関西大学 山本委員（田中委員代理）より、①2011 年度決算書、②2011 年度収入一覧、③2011 年度支出一覧、④証憑書類について、規約第 9 条にもとづき、監査役である青山学院大学および関西大学が会計監査を行った結果、関係書類は適正に処理されており、正確であった旨の報告があった。

以上を踏まえ、本議題を承認。

### 4. 2012 年度予算（案）について

代表幹事校より、「2012 年度予算（案）について」（別紙添付省略）にもとづき提案があった。

2012 年度の収入予定は、年会費（新規加盟大学を含め 25 大学×5 万円＝125 万円）、前年度からの積立金（データベース費用）、および前年度繰越金である。

支出は、総会関係経費、通信費は昨年度同様、委託費は従来のホームページに加え、データベース構築および保守費用を追加しており、内 40 万円は積立金で賄う旨説明があった。その他ミーティング関係は、会議関係として予算を計上している旨説明があった。

以上のとおり提案があり、これを承認。

### 5. JPFF-FD データベースシステムについて

代表幹事校より、「JPFF-FD データベースシステムについて」（別紙添付省略）にもとづき提案があった。

データベースシステムの導入については、目的、活用例、概要、予算は既に各種ミーティングで提案、了解いただいたとおりであり、会員校からの意見をふまえ、他大学の取組の情報共有することを目的に、各大学に負担がかからないようシンプルで分かり易いシステムとする旨提案があった。詳細については資料にもとづき、検索機能は①全文検索と②取組名、取組の有無、任意のワードを指定して行う検索の 2 種とすること、全体の情報データをエクセル形式でダウンロード可能な仕組みとすること、大学関連情報以外にも本フォーラムの過年度総会資料などを置き共有することなどの提案があり、これを承認。

### 6. 2013 年度以降の体制について

代表幹事校より、「2013 年度以降の体制について」（別紙添付省略）にもとづき、①現行幹事校を人気の定めのない幹事校とすること、②会員校の増加を鑑み、会員校から 2 校を選出し、計 12 項を幹事校とすること、③幹事校を東日本と西日本に分け、「地域担当幹事校」を 1 校ず

つ選出し、そのいずれかが「代表幹事校」となることについて提案があった。なお、地域については、会員校数の実態をふまえ、中部地方より西は西日本とする。また、④事務的な部分を担う「事務局校」を置き、当面は立命館大学がこれ担う旨提案があった。これら「地域担当幹事校」、「代表幹事校」、「事務局校」の任期を2年とする旨提案があり、これを承認。

※資料補足：前回の会員校ミーティング(2011年12月1日実施)からの変更箇所を下線表記。

## 7. 規約の改正について

代表幹事校より、「規約の改正について」(別紙添付省略)にもとづき提案があった。本提案は、議題6「2013年度以降の体制について」に伴う規約改正であり、2013年4月1日から施行する旨提案があり、これを承認。

## 8. 幹事校の再任について

代表幹事校より、「幹事校の再任について」(別紙添付省略)にもとづき提案があった。本提案は、2011年度末までが任期となっていた幹事校5校について、議題6、7に関わる経過措置として、2012年度も引き続き幹事校を担う旨提案があり、これを承認。なお、2013年度以降の体制については議題6、7のとおりとなる旨補足説明があった。

※資料訂正：本文中「50音順」の記載について、誤記のため削除。

## 9. 新規入会校(2011年度総会以降)について(報告)

2012年4月に新規加盟した中部大学より、挨拶と活動の紹介があった。中部大学大学教育研究センターでは、兼任教員3名と専任事務職員4名(計7名)が、①明るく楽しく元気のあるFD活動、②草の根のごとく浸透するFD活動、③学外にも広く公開しているFD活動をスタッフ全員で考えて取り組んでいること、また現在は教員研修に力を入れており、恒常的なプログラムが課題となっている旨紹介があった。

## 10. 2012年度に提供する実践的FDプログラムについて

代表幹事校より、「2012年度に提供する実践的FDプログラムについて」(別紙添付省略)にもとづき情報提供があった。オンデマンド講義は2本更新し、ワークショップについては新規開催の「教育評価論Ⅱ」(ティーチング・ポートフォリオの作成)および「教育評価論演習Ⅰ」(ルーブリック評価の実際)も含め、全て会員校に公開する旨報告があった。また、「実践的FDプログラム」の活用事例(参考：ニュースレター No.3)の紹介があり、各大学における活用への期待を含めて案内があった。

## 11. その他

國學院大学 中山委員より、「実践的FDプログラム」を使用している教員からの声として、オンデマンド講義のログインページへの誘導について、立命館大学のホームページを経由するのではなくJPDFから直接アクセスできると有り難いとの発言があった。

### ・閉会挨拶

長尾 憲治 明治大学理工学部専任教授、副教務部長 より閉会の挨拶があり、以上をもって2012年度総会を終了した。

以上

## 2013—2014年度の体制について

標記の件について、「全国私立大学FD連携フォーラム規約 第3章 第8条 2に基づき、代表幹事校、地域担当幹事校、任期の定めのある幹事校、事務局校を下記の通りとする。

### 記

- ・代表幹事校：法政大学  
任期：2013年4月1日～2015年3月31日（2年間）
  
- ・地域担当幹事校：法政大学（東日本担当）、関西大学（西日本担当）  
任期：2013年4月1日～2015年3月31日（2年間）
  
- ・任期の定めのある幹事校：創価大学、龍谷大学（50音順）  
任期：2013年4月1日～2015年3月31日（2年間）
  
- ・事務局校：立命館大学  
任期：2013年4月1日～2015年3月31日（2年間）

以上

【参考】全国私立大学FD連携フォーラム規約 抜粋（※2013年4月1日より施行）

#### 第3章 組織

（代表幹事校、地域担当幹事校、事務局校、幹事校）

（幹事会）

第8条 本フォーラムに幹事会を置き、全幹事校で構成する。

2 代表幹事校、地域担当幹事校、任期の定めのある幹事校および事務局校の任期は2年とする。ただし、地域担当幹事校および任期の定めのある幹事校、事務局校についてはいずれも再任を妨げない。

3 幹事会は、次の事項を審議する。

- ① 地域担当幹事校、任期の定めのある幹事校および事務局校の推薦に関する事
- ② 本フォーラムの活動に係る企画立案に関する事
- ③ 本フォーラムへの入会および退会に関する事
- ④ 総会の議案に関する事
- ⑤ 本フォーラムの運営に関する事
- ⑥ その他重要な事項であつて、緊急に決定を要する事

4 幹事会が前項第6号の規定による決定をした場合には、総会その他の方法により、会員校に速やかに報告し、承認を受けなければならない。

5 幹事会は、必要と認めるときは、幹事校以外の会員校または者を出席させて、説明または意見を聴くことができる。

6 幹事会の運営については、この規約に定めるもののほか、幹事会で別に定める。

2013年6月15日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事会

2013年6月15日 全国私立大学FD連携フォーラム総会

## 監査役（2013－2014年度）について

表記の件について、「全国私立大学FD連携フォーラム」規約 第3章 第9条に基づき、下記2大学を監査役として任命する。

### 記

- ・監査役：神奈川大学、関西学院大学（50音順）
- ・任期：2013年4月1日～2015年3月31日（2年間）

以上

### 【参考】

- ・規約 第3章 組織 より抜粋
- 第9条 本フォーラムに監査役2校を置く。
  - 2 監査役は、会員校の中から選出し、総会で承認し、会計を監査する。
  - 3 監査役の任期は、2年とする。

## 2012年度活動報告および2013年度活動方針・計画

### 1. 2012年度 活動報告

#### (1) 総会、幹事会、各種ミーティング、企画等

##### ①総会およびパネルディスカッション

###### ・2012年度 総会およびパネルディスカッション

日 時： 2012年6月16日（土）13：30～17：10

場 所： 中央大学 後楽園キャンパス 3号館

参加者数： 74名

##### ②幹事会

###### ・2012年度 第1回 幹事会

日 時： 2012年6月16日（土）12：30～13：30

場 所： 中央大学 後楽園キャンパス 3号館

参加大学： 関西大学・関西学院大学・慶應義塾大学・中央大学・同志社大学・法政大学・  
明治大学・立教大学・立命館大学・早稲田大学（計10大学）

（\*50音順、以下同様）

##### ③幹事校ミーティング、会員校ミーティング

###### ・2012年度 第1回幹事校ミーティング

日 時： 2012年12月6日（木）13：00～14：00

会 場： 立命館大学 東京キャンパス／衣笠キャンパス

参加大学： 関西大学・関西学院大学・中央大学・同志社大学・法政大学・明治大学・立教  
大学・立命館大学・早稲田大学（計9大学）

###### ・2012年度 会員校ミーティング

日 時： 2012年12月6日（木）14：00～15：00

会 場： 立命館大学 東京キャンパス／衣笠キャンパス

参加大学： 青山学院大学・関西大学・関西学院大学・九州産業大学・京都産業大学・國學  
院大學・国士舘大学・芝浦工業大学・創価大学・中央大学・中部大学・東京農  
業大学・同志社大学・法政大学・名城大学・立教大学・立命館大学・龍谷大学・  
早稲田大学（計19大学）

###### ・2013年度 第2回幹事校ミーティング

日 時： 2013年3月7日（木）15：30～17：00

会 場： 立命館大学 東京キャンパス／衣笠キャンパス

参加大学： 関西大学・関西学院大学・慶應義塾大学・中央大学・同志社大学・法政大学・  
立教大学・立命館大学・早稲田大学（計9大学）

#### ④その他企画

##### ・2012年度 懇談会企画

日 時： 2012年12月6日（木）15：15～17：30

会 場： 立命館大学 東京キャンパス／衣笠キャンパス

参加大学： 青山学院大学・関西大学・関西学院大学・九州産業大学・京都産業大学・國學院大學・国士舘大学・芝浦工業大学・創価大学・中央大学・中部大学・同志社大学・法政大学・名城大学・立教大学・立命館大学・龍谷大学・早稲田大学（計18大学）

参加者数： 37名

概 要： 関東、関西各会場で以下のテーマ毎にグループ懇談を行った後、テレビ会議システムを利用した懇談のまとめを行った。

・関東テーマ：A)ピア・エデュケーション、B)授業アンケート、  
C)FD推進における教職協働

・関西テーマ：A)ピア・エデュケーション、B)授業アンケート

2012年度は、FD データベース登録情報を参考資料とすることで、より各大学における取組が明確になったといえる。グループ懇談では、共通する課題の確認やその対応策について具体的な事例を交えて情報共有を行った。懇談のまとめでは各グループの懇談内容を共有するなかで、いくつか重要な課題提起もあり、今後のフォーラムの活動へつながるものとなった。

#### (2) 広報活動

①ホームページ (<http://www.fd-forum.org/fd-forum/>)

- ・会員校で開催される企画の広報
- ・発行物の掲載

②ニューズレター「全国私立大学連携フォーラム News Letter No.4」発行（2013年3月）

#### (3) 2012年度 新規加盟校

- ・2012年 4月 中部大学（2012年度総会にて紹介済）
- ・2012年 7月 九州産業大学（2013年度総会にて紹介予定）
- ・2012年 10月 明星大学（2013年度総会にて紹介予定）

#### (4) 「実践的FDプログラム」

・オンデマンド講義の更新：2講義

①新規：「大学管理運営Ⅷ」～教職協働による大学運営～  
講師－大島 英穂（立命館大学）

②1パート追加：「教育方法論Ⅳ」～学習教材における著作権等への理解～  
講師－酒井 知志（常盤大学）

・ワークショップの公開：12講座（いずれも立命館大学で実施）



## 2. 2013 年度 活動方針

2008 年 12 月に 10 大学から開始した全国私立大学 FD 連携フォーラム（以下、フォーラム）も、2013 年度 6 月時点で会員校 29 大学となり、毎年拡大を続けている。また、文部科学省事業採択期間を終了し、2011 年度より会員校の年会費による運営を開始した。フォーラムの活動としては、総会・パネルディスカッションの開催、幹事会や幹事校ミーティング、会員校ミーティングに加え、センター長懇談会、地域懇談会などの企画を開催してきた。

2013 年度については、引き続き各種企画の実施や情報共有を行い、一層の情報共有の強化に努める。2012 年度に導入した FD データベースシステムを活用することで、よりスムーズな情報共有をはかる。また、2013 年度は、新運営体制のもとで、今後のフォーラムの活動のありかたについて会員校全体で改めて共有し、共通認識を深めたい。

また、フォーラムで開発を行い、現在立命館大学で開発運営を継続している「実践的 FD プログラム」についても、会員校でのより一層の活用促進をはかりたい。

2013 年度は、以下を主な方針とする。

- (1) 会員校の連携および情報共有の強化（企画による場の提供やシステムの活用など）
- (2) 新規加盟の促進
- (3) 「実践的 FD プログラム」の活用促進

## 3. 2013 年度 活動計画概要

### (1) 会員校の連携および情報共有の強化（企画による場の提供やシステムの活用など）

- ①定例の会議（総会、幹事会）および各種ミーティング（幹事校ミーティング、会員校ミーティング）を実施する。
- ②地域別企画、分野別企画やセンター長ミーティングや事務局ミーティングなどのグループ別企画を検討する。開催にあたっては、会員校の参加のしやすさを考え、地域毎の活動を中心に検討する。
- ③FD データベースシステムを活用することにより、会員校の FD 取組み状況などの情報共有を推進する。
- ④FD データベースシステムを活用し、総会やミーティング資料などのフォーラム関連資料を蓄積・共有する。

### (2) 新規加盟の促進

- ①新規に 3 大学程度の加盟を目指す。特に、新たな地域での連携（例：九州地域など）への働きかけを強化し、連携の展開を目指す。

### (3) 立命館大学「実践的FDプログラム」の活用促進

#### ①オンデマンド講義

- ・ニーズも踏まえ、集合研修などで活用可能な「集合研修用ID」を新たに設定し、会員校へ配布し、より一層の活用を目指す。なお、非会員校に対しては、有償で提供する。
- ・会員校の登録アカウント数については、従来どおり申し込み数の上限を設けず、広く活用可能なものとする。
- ・通常のIDの申請状況や実際の活用状況、「集合研修用ID」の活用状況を調査し、活用事例を共有する。

#### ②ワークショップについて

- ・新規開発ワークショップも含め、従来どおり立命館大学で実施するワークショップを公開する。また、ワークショップに参加いただき、その後自校で活用いただくために、ノウハウや必要な資料などを提供する。

#### ●年間スケジュール（予定）

- 6月 ・幹事会、総会、総会企画（パネルディスカッション）の開催
- 7～9月 ・幹事校ミーティング
- 10月 ・会員校ミーティング、懇談会企画
- 3月 ・幹事校ミーティング

※その他、地域別、分野別など各種懇談会の開催（日程未定）

以上

### 全国私立大学FD連携フォーラム 2012年度 決算

(2012年度決算期間:2012年4月1日～2013年3月31日)

#### <収入の部>

単位:円

区分	2012年度 予算額	決算額	備考
年会費	1,250,000	1,300,000	*1
前年度積金	400,000	400,000	(データベース構築用積立)
前年度繰越金	257,271	257,271	
合計	1,907,271	1,957,271	

#### <支出の部>

単位:円

区分	2012年度 予算額	決算額	備考
総会関係経費	260,000	246,880	
内訳			
事業推進費	200,000	192,800	看板、花、設営費、昼食・飲料 パネリスト懇親会費補助等
旅費	60,000	54,080	代表幹事校要員交通費(2名)
通信費	30,000	36,980	郵送料
委託費	1,000,000	918,560	
内訳			
JPFホームページ関連	150,000	162,560	維持管理費・更新費
FDデータベースシステム関連	850,000	756,000	システム構築費・保守費用 ※内 400,000円は前年度積立金
印刷費	300,000	199,500	ニュースレター発行費
ミーティング、各種懇談会関係経費	200,000	63,600	
内訳			
会議関係費	20,000	9,520	お茶代
旅費	180,000	54,080	代表幹事校要員交通費 (各種ミーティング・企画計3回)
予備費	117,271		
合計	1,907,271	1,465,520	
次年度繰越金		491,751	
合計	1,907,271	1,957,271	

\*1 内訳

- ①2012年度に2大学が新規に加盟。
- ②1大学が未徴収のため、2013年度予算に繰越。

全国私立大学 FD 連携フォーラム 2012 年度 監査報告

全国私立大学 FD 連携フォーラムの 2012 年度(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)の決算関係証憑類は適正に処理されており、正確であることを認め、ここに報告します。

監査委員

青山学院大学 FD 推進委員会委員長

長谷川 信



関西大学 教育開発支援センター長

田中俊也



全国私立大学FD連携フォーラム 2013年度予算(案)  
(2013年度決算期間:2013年4月1日～2014年3月31日)

<収入の部>

単位:円

区分	予算額	備考
年会費	1,500,000	29大学+1大学(2012年度分)
前年度繰越金	491,751	
合 計	1,991,751	

<支出の部>

単位:円

区分	予算額	備考
総会関係経費	210,000	
内 訳		
事業推進費	150,000	看板、花、設営費、昼食*1・飲料 パネリスト懇親会費補助*2等
旅費	60,000	代表幹事校、地域担当幹事校、事務局校 要員交通費(各2名)*3
通信費	50,000	郵送料
委託費	350,000	
内 訳		
JFFFホームページ関連	300,000	維持管理費・更新費
FDデータベースシステム関連	50,000	保守費用
印刷費	500,000	ニュースレター発行費(年2回発行)
ミーティング、各種懇談会関係経費	330,000	
内 訳		
会議関係費	30,000	お茶代
旅費	300,000	代表幹事校、地域担当幹事校、事務局校 要員交通費(各2名)*4 (各種ミーティング・地域別企画 計3回)
予備費	551,751	
合 計	1,991,751	

【補足】

\*1:昼食

幹事会出席者、パネル打合せ出席者、要員分

\*2:パネリスト懇親会費補助

2013年度:3,000円×5名分 見込み

\*3:代表幹事校・地域担当幹事校(東日本担当)要員交通費

申請内容に基づいて実費を支給する。

(注)地域担当幹事校(西日本担当)、事務局校については、本年度は支給しない。

【参考】

交通費:(京都-東京・新幹線(指定席)):13,520円(片道)

※旅費=交通費+宿泊費(必要な場合)

\*4:要員旅費内訳

[代表幹事校・地域担当幹事校]

\*3:代表幹事校・地域担当幹事校(東日本担当)要員交通費

申請内容に基づいて実費を支給する。

(注)幹事校ミーティングについては、本年度は支給しない。

[地域担当幹事校]

(内訳)

・地域別企画(1回×2名)

【参考】

交通費:(新大阪-東京・新幹線(指定席)):14,050円(片道)

[事務局校]

・地域別企画(1回・東日本地域開催分のみ)×2名

・幹事校ミーティング(2回×2名)

【参考】

交通費:(京都-東京・新幹線(指定席)):13,520円(片道)

## 新規入会校（2012年度総会以降）について（報告）

### ●九州産業大学

- ・入会：2012年7月
- ・総会代表者：岡部 博司（大学改革推進本部 大学評価室長）
- ・大学情報（※九州産業大学ホームページ <http://www.kyusan-u.ac.jp/>より）  
学生数：10,807名（2013年5月1日現在）

### ●明星大学

- ・入会：2012年10月
- ・総会代表者：服部 裕（教務担当副学長・全学FD委員会委員長）
- ・大学情報（※明星大学ホームページ <http://www.meisei-u.ac.jp/>より）  
学生数：8,090名（2012年5月1日現在）

### ●日本大学

- ・入会：2013年4月
- ・総会代表者：牧村 正治（FD推進センター長・副総長（学務担当））
- ・大学情報（※日本大学 <http://www.nihon-u.ac.jp/>ホームページより）  
学生数：68,675名（2012年5月1日現在）

### ●愛知大学

- ・入会：2013年4月
- ・総会代表者：砂山 幸雄（副学長（教学担当））
- ・大学情報（※愛知大学 <http://www.aichi-u.ac.jp/> ホームページより）  
学生数：9,612名（2012年5月1日現在）

以上

## 2013年度に提供する実践的FDプログラム（ワークショップ）について

各回の詳細は JPDFF ホームページでお知らせいたします。

\*開催場所:KIC=立命館大学 衣笠キャンパス(京都)

BKC=立命館大学 びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)

開催日	講座名・テーマ	到達目標
2013年 4月27日(土) [KIC] 午後	「教授学習理論演習Ⅰ」 アクティブ・ラーニングの 方法と実践 ～ピア・サポーターの活用を中心に	①ピア・サポーターを活用したアクティブ・ラーニングの方法を修得し、 実践することができる(技能) ②各自が実践しているアクティブ・ラーニングの交流を通して、自らの 授業を省察できる(態度)
2013年 4月27日(土) [KIC] 午後	「教授学習理論演習Ⅱ」 アクティブ・ラーニングの方法と 実践 ～ICTの活用を中心に	①ICTを活用したアクティブ・ラーニングの方法を修得し、実践するこ とができる(技能) ②各自が実践しているアクティブ・ラーニングの交流を通して、自らの 授業を省察できる(態度)
2013年 8月2日(土) [BKC] 午後	「教育方法論演習Ⅱ」 良い授業のための留意点 -話し言葉に着目して ～図形並べ	①自分の指示すべき情報が、どの程度、口頭で的確に伝達されるかを 体験する(知識) ②フィードバック(質問、聞き直し)がある場合とない場合で、どの程度 口頭による指示の伝達が異なるかを体験する(知識) ③教員が得意とする言語情報(verbal communication)の限界を体験 する(知識、技能)
2013年 8月2日(土) [BKC] 午後	「教育方法論演習Ⅲ」 良い授業のための留意点 -非言語・視覚情報の応用 ～無言面接	①自分の表情、アイコンタクト、態度が他人に与える印象を知る(知識) ②状況に応じて自分が相手に好印象を与える表情、態度、アイコンタク トを演じることができる(技能)
2013年 9月19日(木) [KIC] 終日	「授業設計論演習Ⅰ」 シラバスと授業の到達目標の書き方	①シラバスと授業の到達目標を観点別に行動目標で表現できる(技能)
2013年 9月19日(木) [KIC] 終日	「授業設計論演習Ⅱ」 強制連結法による授業設計	①強制連結法を用いて授業を設計することができる(技能)
2013年 9月19日(木) [KIC] 終日	「授業設計論演習Ⅲ」 マイクロティーチングと評価	①強制連結法を用いて設計した授業を実施、相互評価することができる (技能) ②公開授業等において、授業評価を行う際に求められる観点を知り、 適切な評価を行うことができる(技能、態度)
2013年 9月20日(金) [KIC] 午前	「教育評価論演習Ⅰ」 学習到達度評価 ～ルーブリック評価の実際	①授業の到達目標に合った試験、課題等が作成できる(技能) ②学生に対し評価の観点や評価方法について適切に説明できる(技能) ③評価結果を学生にフィードバックすることができる(技能)
2013年 11月2日(木) [KIC] 午後	「心理学演習Ⅰ」 聴き手に求められる力	①聴き手の姿勢や態度が話し手の話す意欲に影響することに気づく (技能) ②話す意欲を高める/損なう要因を知る(技能)
2013年 11月2日(木) [KIC] 午後	「教育評価論演習Ⅱ」 ～ティーチング・ポートフォリオの 作成	①実際のシラバス教材、評価アンケートの結果など、自分の教育活動の 根拠となる資料を用いて、ティーチング・ポートフォリオを作成する ことができる(技能) ②授業改善のためティーチング・ポートフォリオを積極的に活用する (態度)
2013年 12月7日(土) [BKC] 午後	「心理学演習Ⅱ」 受容的に聴く力 ～イヌ・バラ法	①イヌ・バラ法を用い、「あいづち」や「相手の言葉を繰り返す」 技術を身に付ける(技能) ②相手の話の背景にある意見や気持ちを思い浮かべることができる (技能)
2013年 12月7日(土) [BKC] 午後	「心理学演習Ⅲ」 アサーション・トレーニング	①自分の指示や指導の仕方の特徴を知る(技能) ②自分の気持ちも相手の気持ちも大切に指示、指導ができる(技能)

【注意】 キャンパスと時間はあくまでも予定であり、変更の可能性があります。